

第4回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所

2019年度 第4回理事会 議事録 (案)

日時：2019年4月5日 (金) 19:00～

場所：尾道国際ホテル

(出席者)

山北真也、加度亮平、美ノ上仁孝、安楽城大作、中谷純也、池田知和、石森良、大本誠、高橋建太、加藤雄大、原田知晴、鍋島巧、大前慶倫、高升純、小林暢玄、中島裕一郎、岡田貴臣、今岡正英、大西貴明、三浦雄輔

(欠席者)

安本皇、池田憲泰、川崎耕平、吉田雄太、岡本正也、小川直紀、岡本大輔

(遅刻)

(早退)

1. 開会
2. 点鐘
3. JCI クリード唱和 中島裕一郎
4. JCI ミッション並びにJCI ビジョン唱和 池田知和
5. JCI 宣言文朗読並びに綱領唱和 大前慶倫
6. 出席者の確認 : 大西事務局長より
理事18名 監事1名 セクレタリー1名
7. 配布資料の確認 : 今岡専務理事より
第4回理事会資料 1部
8. 議事録署名人並びに議事録作成人の指名 : 山北理事長より
議事録署名人 : 加度亮平
議事録作成人 : 事務局
9. 議題の確認 : 今岡専務理事より
(審議事項)
第1号議案 2月例会行事 事業報告(案) 決算(案) に関する件
第2号議案 3月例会行事 事業報告(案) 決算(案) に関する件
第3号議案 4月例会行事 事業計画(案) 予算(案) に関する件
第4号議案 家族会 事業計画(案) 予算(案) に関する件

第 5号議案 その他

その他は案件がないことを確認し、削除

(協議事項)

第 1号議案 その他

その他は案件がないことを確認し、削除

(報告依頼事項)

第 1号議案 その他

その他は案件がないことを確認し、削除

以上の結果、上記4議案にて本会を進行する事とした。

10. 理事長挨拶

(山 北) 皆さまこんばんは。やって見せ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。山本五十六の有名な言葉がありますが、トップとしてやるうえで最低限心得ておかないといけないことがこの言葉には詰まっているのではないかと思います。私は理事長としてこの青年会議所のトップにいますが立場は違えど、副理事長、委員長、副委員長の皆さんもその組織の中でトップにあたる人物であります。そういう人物がこういう心構えをもってメンバーに配慮するということが必要だと思えます。少し話は変わりますが、副理事長からお伺いしている中ではメインとなる事業が8月から10月に集中するのではないかと思います。それが悪いということではありませんが是非、まだ事業を行っていない委員会は大半だと臣ますが、この4月から7月の間で何かしら委員会の中で普通の委員会とは別にみんなで集まって何かやって頂きたいと思えます。それが委員会旅行であったり、はたまた委員会で飲み会を開くなどそういうことでも構いません。そういうお願いをするのはなぜかという私も経験上、委員会が結束するタイミングは、本当は何かの事業をするのがいいですが、皆で苦勞して何かをやり遂げた後というのは必ずその委員会はまとまっていきます。そうすれば委員会として一体感を持った取り組みができますし、各委員会が一体感を持った取り組みができれば会として事業として一体感をもって取り組めると思えますし、そこら辺を意識しながら今後の委員会運営に取り組んでいただければと思います。今日は議案が4議案しかございませんが活発の意見をいただきながら素晴らしい事業にできるように本日もどうぞよろしく申し上げます。以上簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。

11. 直前理事長挨拶

欠席のため、割愛

12. 理事長報告

資料にて確認

13. 委員会報告

資料にて確認

14. 審議事項

第 1号議案 2月例会行事 事業報告（案）決算（案）に関する件

（山 北）安楽城副理事長お願いします。

（安楽城）加藤委員長お願いします。

（加 藤）資料参照

（山 北）ありがとうございます。安楽城副理事長何か補足はございますか？

（安楽城）特にございません。

（山 北）ではご意見等お願い致します。

（小 林）アンケートをメンバーにメール配信などで還元したらどうでしょうか。

（中 島）アンケート回収が73%ですが何か理由はございますか。

（加 藤）例会を途中退席されたメンバーと当委員会の8名分が欠けているからだと考えています。

（岡 田）この事業をする前と後で今後の事業展開に方向性が変わったなどありますか。

（加 藤）この事業を経て今後の事業方向に変更点は特にございません。

*前回一致で承認可決

第 2号議案 3月例会行事 事業報告（案）決算（案）に関する件

（山 北）美ノ上副理事長お願い致します。

（美ノ上）池田委員長お願いします。

（池田）資料参照

（山 北）ありがとうございます。美ノ上副理事長何か補足はございますか？

（美ノ上）特にございません。

（山 北）ではご意見等お願い致します。

（原 田）会員の交流が図れたことで会員の絆が深まり活気溢れる組織作りになるのか説明をお願いします。

（池 田）少しでも交流が図れたと思いこういう記載にしました。

（原 田）ゲームを通じて絆が作れたのか、ゲームを通じて活気溢れる組織が作れたのか明確にお答えいただければと思います。ゲームがどのような感じで目的に関係していたのかが知りたいです。

（池 田）活気溢れるということはそこに人がたくさんいるということからこの100%例会を思いつきました。まずは例会に出席して顔を合わせるということが活気溢れることだと思って

第4回理事会 議事録

います。

(原 田) 今回の例会の効果がどれだけあったか今後検証したほうがいいと思います。

(池 田) 今回の手法を各委員長に今後実施して頂き、ラインだけでなく電話連絡やアテンドと一緒に行っていただくなどしてもらいたいと思います。数字に関しては総務に聞けばすぐにわかると思います。

(今 岡) 今後のアテンドについてのお願いがございます。アテンドについては各 LOM の専務とやり取りしていますが今回のアテンドで急なキャンセルや追加などが多くありました。アテンドは良い事ではあります、先方の準備などもありますので今後はキャンセルや追加がないように取りまとめをお願いします。

*全会一致で承認可決

第 3号議案 4月例会行事 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(山 北) 安楽城副理事長お願い致します。

(安楽城) 大本委員長お願いします。

(大 本) 資料参照

(山 北) ありがとうございます。安楽城副理事長何か補足はございますか？

(安楽城) 特にございません。

(山 北) ではご意見等お願い致します。

(中 島) メンバーに参加を促すうえで簡潔に伝えるためにはどういうことを伝えるべきでしょうか。

(大 本) 利他の心を伝えたいのでまずは西國寺に来て貰いたいです。

(中 島) 西井講師と麻生先輩でどう伝えていくのか。

(大 本) 尾道の文化と利他の心を話していただけるように伝えております。

(中 島) 西井先生に尾道青年会議所にああしろこうしろとは言いにくいと思うので麻生先輩にどう伝えてもらえるかが大事だと思います。

(原 田) 大本委員長の伝えたいのが利他の心ですが目的を読む限り伝わらないのですが、そこが大事ならばそのように書いたらどうでしょうか。

(大 本) 委員長趣旨説明で伝えていこうと思います。

(原 田) 理事会で規律をとるうえで皆さんに伝わるようにわかりやすく書くべきだと思います。

(大 本) 目的の部分ですがお寺と商人の関係性の中に利他の心が含まれているという解釈です。

(原 田) お寺と商人の関係で利他の心はピンとは来なかったのもう少しわかりやすく書いたらどうでしょうか。

(大 本) 本来はわかりやすく各部分だったのですが審議上程ですので今回は趣旨説明で伝えたいと思います。

(加 藤) アンケートの部分でこのアンケートだと歴史についての回答が返ってくるともうので利他の心が伝えたいのであれば少し変えたらどうでしょうか。

(安楽城) 原田委員長の質問にありました目的は例会の中と報告で代えさせていただきたいと思いま

第4回理事会 議事録

す。加藤委員長から意見がありましたアンケートは大本委員長お答えをお願いします。

(大 本) 一文を追加したいと思います。

(鍋 島) 多種多様な職種の中で当時と現在では商人のカテゴリーが変わってきていると思います。商人＝商人は話が伝わっていくと思いますが商人＝商人ではない場合にどう伝えていくべきでしょうか。

(大 本) 過去と現在では商人のカテゴリーが違うと思いますが利他の心を持つということは職種関係ないと思いますのでそういう部分を伝えていきたいと思います。

(池 田) 利他の心の思いを電話で各メンバーに呼び掛ければ出席が上がり良い委員会になると思います。

(小 林) 尾道の歴史を話すうえで西井先生は適任だと思いますが歴史を聞くだけでは尾道青年会議所としてはどうかと思うので麻生先輩にその部分を補填してもらえばいいと思います。

*全会一致で承認可決

第 4号議案 家族会 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(山 北) 安楽城副理事長お願い致します。

(安楽城) 加藤委員長お願いします。

(加 藤) 資料参照

(山 北) ありがとうございます。安楽城副理事長何か補足はございますか。

(安楽城) 特にございません。

(山 北) ではご意見等お願い致します。

(岡 田) お持ち帰り用の保冷材などありますか。

(加 藤) お持ち帰り用のパックの準備はしますが保冷材は準備しません。なるべく食べきってもらうように促し持って帰られる際は自己責任でと案内します。

(大 前) 駐車場にメンバーの車は全部止められますか。

(加 藤) メンバーだけであれば全員来ても止められるスペースはあります。できるのであればメンバーの方に乗り合わせを促してもらえればと思います。

(石 森) 食に関心を持ってもらうことを目的としてなぜカブラを選ばれたのでしょうか。

(加 藤) 当初は最初から最後まで食で通そうかと思っていましたがやはり楽しんで帰ってもらうのが前提なのでどうしても食だけでは難しく対象年齢が広いカブラにしました。

*審議事項の第4号議案は全会一致で承認可決、協議事項の第1号議案は閉じる。

15. 協議事項

16. 報告依頼事項

17. 連絡事項

(大 西) 次回正副理事長会議の上程締切を4月22日17時とさせていただきます。

18. 監事予定者講評

(加 度) 皆さん本日は大変お疲れ様でした。本日は2件の報告がありましたのでまずは報告から話をさせていただこうと思います。企業でもそうですし、青年会議所でもそうだと思いますがやはりPDCAサイクルを回すというのはよくあると思います。もちろん回すのは大事ですがよく計画とか実行はわりとやってのけると思います。ただチェックがざるになるケースがあると思います。その中で検証するのは大事だと私は思っています。2月例会の加藤委員長の事業報告に関しましてはアンケートを取ってそれをまとめて、また、一番いいなと思ったのが講師の回答があったのが非常にいいなと思いました。これを全体で共有するというのはなかなか難しいことかもしれませんが今後食育とかで事業を展開していくのでしたらそういうのを取り入れたり、委員会メンバーがロコミみたいなので広めていってもらえたら非常にいいのではないかと考えております。どのように3月例会の池田委員長のところでは100%を達成したその手法を具体的に載せていただいているのも非常にいいかなと思っています。やはり皆さんもそうだと思いますが今年の報告とかを参考にして事業を組み立てていくと思いますので事業報告に関しては次年度の人がわかりやすいように報告して頂ければと考えております。続きまして計画に入っていきますと本日の大本委員長が企画されました4月例会に関しましてはもちろん協議で話をさせていただきたかったのはありますが最後に大本委員長が語って頂いたのは非常に良かったと思います。もちろん上程資料に載せないといけないとか背景・目的も大事ですがやはり僕自身もそうですし皆さんもそう思うと思いますがやはり委員長がどういう風な思いで会を企画するのかという効果があるのかというのはやはり議案文だけでなく口で話して頂くのが一番わかりやすいですし興味深いのではないかと思いますのでそういう思いを語って頂きながらそういう思いを形にできる例会にしていただければと思います。続いて家族会に関しましては家族を含めた事業というのはJC活動の基盤になると思います。実は私の家族も家族会を結構楽しみにしておりますので細かい運営とかJCメンバーだけじゃない対外の要素もある会だと思っておりますので是非ギリギリまで細かいところを詰めていただければと思います。本日4つの議案なので今後たくさん事業が上がってくると思います。本日の理事会で上がった内容とかこういったところのいろんな話をする内容を是非活かしていただいて今後の事業がより良くなるような議案や理事会になって頂ければと思います。

19. 次回開催日の確認

(今 岡) 5月 8日(水) 尾道国際ホテルにおいて

20. 閉会

21. 点鐘

第4回理事会 議事録

議 長	山 北 真 也	印
署 名 人	加 度 亮 平	印
作 成 者	三 浦 雄 輔	